

項目	内容
名称	アラビアガム、アラビアゴム、アカシアガム、アラビアゴムノキ [英]Arabic gum、Acacia gum、Gum arabic Acacia [学名]Acacia senegal (L.) willd
概要	アラビアガムは、マメ科アラビアゴムノキまたはその他同属植物から取れる樹脂で、多糖類 (アラビノガラクトン) を主成分とする水溶性の食物繊維である。水溶液は低粘性で、強い乳化安定性および保護コロイド性をもつことから、食品添加物 (増粘安定剤) として菓子やアイスクリームなどの食品に、また安定剤として医薬品・化粧品・日用品にも広く使用が認められている。ガムシロップの名称は、シロップ中の砂糖の結晶化を防止するためアラビアガムが添加されていたことが語源といわれている。
法規・制度	<ul style="list-style-type: none">■ 食薬区分<ul style="list-style-type: none">・乾燥ゴム質 (枝、葉) : 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。■ 日本薬局方<ul style="list-style-type: none">・アラビアゴム、アラビアゴム末が記載されている。■ 食品添加物<ul style="list-style-type: none">・既存添加物 : 増粘安定剤■ 海外情報<ul style="list-style-type: none">・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・主成分であるアラビノガラクトンは分子量22~30万の多糖類で、少量のタンパク質と結合したプロテオグリカンである。アラビン酸 (arabic acid) を含み加水分解されてアラビノース、ガラクトース等の糖になる。またグルクロン酸等の酸、カルシウム、マグネシウム等のミネラルを含む。
分析法	-

有効性

循環器・呼吸器	
消化系・肝臓	RCT ・健康な男性51名 (平均30.9歳、オランダ) を対象とした二重盲検並行群間無作為化比較試験において、アラビアガム粉末 (水溶性繊維 \geq 80%) を1日に5、10、20、40 g、4週間摂取させたところ、糞便中のBifidobacteriaとLactbacill (いわゆる善玉菌) は10 g摂取で最も増加が認められた (PMID:18466655)。
ヒトでの評価	
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS). (PMID:8385164) J Am Coll Nutr. 1993 Apr;12(2):147-54. (PMID:15269196) J Antimicrob Chemother. 2004 Aug;54(2):577-8. Epub 2004 Jul 21. (PMID:8378620) Rev Med Interne. 1993;14(2):107-11. (PMID:18466655) Br J Nutr. 2008 Dec;100(6):1269-75. (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳